

令和7年

第1回1月定例教育委員会議事録

令和7年1月29日

大野城市教育委員会

次 第

- 1 招集日時
 - 招 集 日 令和7年1月29日
 - 開会時間 午前10時00分
 - 閉会時間 午前10時45分
- 2 招集の場所 大野城市役所 本館4階 全員協議会室
- 3 会議次第
 - (1) 開会
 - (2) 議事録署名委員の指名
 - 令和6年第13回12月定例会議事録の署名委員 高野 英機 委員
 - 令和7年第1回1月定例会議事録の署名委員 山口 典子 委員
 - (3) 議事 なし
 - (4) 教育長報告
 - (5) 報告
 - ①令和7年度大野城市奨学資金奨学生選考結果について
 - ②第2次大野城市学校教育情報化推進計画について
 - (6) その他
 - ①教育長の業務報告（12月～1月）
 - ②教育委員会の主な行事・業務の予定（2月）
 - (7) 閉会
- 4 出席した委員等 伊藤 啓二（教育長） ・高野 英機 ・ 山口 典子
藤河 久美 ・ 佐藤 友恵 ・ 關 知子
- 5 欠席した委員 なし
- 6 出席した職員

教 育 部 長	若山 純哉
教 育 政 策 課 長	光野 直隆
教 育 振 興 課 長	松岡 真彦
教 育 支 援 課 長	山崎 栄子
教育支援課主幹指導主事	平井 源樹
ス ポ ー ツ 課 長	甲斐 めぐみ
ス ポ ー ツ 課 長	中原 英貴
教 育 政 策 課 係 長	川口 司寛
教 育 振 興 課 担 当	上野 慧
教 育 政 策 課 担 当	吉富 咲紀
教 育 政 策 課 担 当	橋本 由美
- 7 会議の書記 教 育 政 策 課 担 当 橋本 由美

午前10時00分 開会

○伊藤教育長

それでは、ただいまから令和7年1月の定例教育委員会を開会いたします。

〔議事録署名委員の指名〕

○伊藤教育長

議事録の署名委員の指名を行います。前回12月の定例会で高野委員にお願いしておりましたので、ご署名をお願いします。

今回の議事録の署名については、山口委員にお願いいたします。

〔議事〕

○伊藤教育長

それでは、次第の3、議事に入ります。

今回、議事はございません。

〔教育長報告〕

○伊藤教育長

次第の4、教育長報告です。

教育長報告についても、今回報告すべき事項がございません。

〔報告〕

○伊藤教育長

次第の5、報告。

まず、令和7年度大野城市奨学資金奨学生選考結果について、光野教育政策課長、説明をお願いします。

○光野教育政策課長

資料の1ページをお願いいたします。

奨学生の選考につきましては、藤河委員と佐藤委員に選考委員としてご参加をいただきました。ありがとうございました。

その選考結果についてご報告いたします。

1の募集についてですが、7月1日から募集を行いまして、学力枠、文化・スポーツ枠それぞれに締切を設け、実施をいたしております。周知につきましては、市内中学校の学校長や奨学金担当の先生への説明会、それからホームページや広報などで周知を行い、また、近隣の高等学校へご連絡をして、資料等を郵送し、依頼させていただいております。あわせて、市内中学校の部活動の顧問の先生にも個別に配付させていただいたところがございます。

2の学力枠の選考につきましては、高校で3名、大学で2名の募集に対しまして、高校が12名、大学が2名の応募があり、8月末と9月に論文と面接試験を実施しております。

3の文化・スポーツ枠の選考につきましては、高校1名、大学1名の募集に対しまして、高校生が2名、大学生が3名の応募があり、10月中旬に論文と面接試験を実施しております。学力枠、文化・スポーツ枠とも実際応募があったものの、資格などの要件により、学力枠で1名、それから文化・スポーツ枠で4名の方が非該当となり、文化・スポーツ枠の高校生の枠につきましては、残念ながら受験者がゼロとなっております。

4になりますが、今回は応募が少なく、非該当者もいたことから、学力枠につきまして内定者の繰上げを行っております。学力枠、文化・スポーツ枠合わせまして7名の奨学生を予定しておりましたが、結果的に全体で5名しか内定を選出できなかったため、選考委員会での協議の結果、奨学生となる機会を広く確保するために、補欠のいる学力枠の高校生から2名の繰り上げ内定を行っております。

その結果につきましては2ページをご覧いただきたいと思います。

2ページの5になりますが、選考の結果、学力枠では、高校生は5名の内定と3名の補欠、大学生は1名の内定を決定しております。文化・スポーツ枠では、高校生は0名で、大学生は1名の内定を決定しています。今回、応募状況があまりよくなかったことを踏まえまして、今後、奨学生の応募を増やすための見直し、それから検討を引き続き行ってまいりたいと思っております。

説明は以上となります。

○伊藤教育長

それでは、ただいまの説明、報告について何かご質問がありましたらどうぞ。よろ

しいですか。

それでは、次に進みます。

第2次大野城市学校教育情報化推進計画について、松岡教育振興課長、説明をお願いします。

○松岡教育振興課長

それでは、第2次大野城市学校教育情報化推進計画についてご説明いたします。

資料は別紙、A3の概要版、それと、こちらの計画の本編をお配りしております。

本計画につきましても、前計画である大野城市学校教育情報化推進計画の計画期間が令和5年度末をもって満了したことから、これまでの事業成果や課題などを踏まえ作成したものです。また、計画の策定にあたりましては、検討委員会を開催し、小中学校の先生方や市役所の関係課からの意見も伺いながら、令和7年1月に策定しております。

それでは、計画の概要について、説明をさせていただきます。

まず、左側、上になります、第1章の計画策定の趣旨をご覧ください。本計画の目的は、新時代を切り拓く子どもたちに必要となる資質と能力を確実に育成するもので、計画期間は令和6年度から令和10年度までの5年間としております。

次に、その右側、第2章、学校教育を取り巻く情報化の状況としまして、国、県の動向、本市の現状と課題を取りまとめています。本市の課題としましては、機器に関して、計画的な更新が必要なこと、児童生徒では日常的な活用には至っていないこと、教育ではICT活用指導力が全国平均未満であること、情報モラルでは計画的なモラル教育が不十分であることなどが挙げられます。

それらの課題に取り組むため、第3章、推進施策の3-1、目指す学びの姿において、授業、児童生徒、教員の三つに目指す学びの姿を定め、3-2、目指す学びの姿を実現するための施策において五つの施策を掲げております。まず、施策①の児童生徒1人1台端末の利活用では、デジタル教科書、デジタルドリルなどの日常的な活用と家庭学習の実施、施策②の個別最適・協働的な学びの充実では、個別最適・協働的な学びに係るタブレット端末の活用促進、施策③の学びの保障では、不登校や日本語支援が必要な児童生徒へのICT機器を活用した学習支援、施策④の教員のICT活用指導力の向上では、研修のさらなる充実化やICT支援員の派遣回数の見直し、施策⑤については、教職員、児童生徒への情報セキュリティ・モラル教育を実施してい

きたいと考えております。

また、下の表に、各施策の目標達成のためのK P I、達成指標と計画期間における目標値を記載しています。

次に、右側3-3、目指す学びの姿を実現するために必要なICT環境整備では、各施策を実現するために必要なタブレット端末やネットワーク機器の計画的な更新や校務支援システムの県内共同化を行うこととしています。

また、計画書の本編、こちらの25ページから31ページになりますが、3-3、目指す学びの姿を実現するために必要なICT環境整備、この中で、今後の更新計画についても取りまとめを行っております。

計画書の26ページをご覧ください。

一番上の児童生徒用タブレット端末と二番目の教員用タブレット端末については、令和7年度に85%の端末を、令和8年度に残りの15%の端末を更新する予定としております。また、タブレット端末の故障や破損、修理などで児童生徒の学びを止めないためにも、タブレット端末の予備機を児童生徒数の15%、約1,400台を準備することとしております。また、下から四つ目になりますICTサポートでは、現在、ICT支援員が月2回、各学校を訪問していますが、令和7年10月以降、月3回に増やすとともに、有効であった支援事例の共有や具体的な授業支援メニューの充実を図るなど、教員のさらなるICT活用指導力の向上につなげていきたいと考えております。また、そのほかの機器やネットワークなどについても計画的に更新をし、目指す学びの姿を実現するための各種施策に取り組んでまいります。

説明は以上となります。

○伊藤教育長

それでは、ただいまの情報化推進計画、細かく中身が出ておりますが、概要版も含めて、何かお尋ねになりたいことがあればお申し出ください。

佐藤委員。

○佐藤委員

情報化推進計画について、共有していただきましてありがとうございます。

見ていたところ、素人の考え方で申し訳ないですが、学びの保障のところ、以前、教育委員会でも私がお伝えしたかと思うんですけれども、コロナとか、そういう有事

の際にこういった対応をとるのか、そういう学びの保障というのはこの中には入らないでしょうか。それともまた別にあるということでしょうか。

お尋ねするのは、ICTを推進するにあたって、子どもたちの学習面の向上はもちろんですけれども、コロナなどの有事の際に、保護者として学びの保障があったのかという点では、私はやっぱりちょっと置き去りになっていたようなことを感じたので、もし次にそういったことが起きたときにも教育委員会として、子どもたちが円滑に学んでいけるような施策を考えていってほしいなと思っているからです。この計画の中とは別で考えられているなら、そういったことをお聞かせいただければと思います。

○伊藤教育長

お願いします。

○上野教育振興課担当

教育振興課の上野と申します。

佐藤委員がおっしゃった学びの保障の中で、コロナ等有事の際の保障というのはとても大事なことだと思っております。大野城市では、前の有事のときは、タブレットの持ち帰りなどを推進していて、今も例えばインフルエンザで長期欠席になった場合などには、オンラインでつないで学習をしています。その活動がこの中にきちんと記載できていませんでした。これからももちろん行っていきたいと思っております。長期休業があったときのオンラインの活用の指針を出してありまして、それは学校に通知をさせていただいていますので、引き続きその部分に関しては保障されるように十分に取り組んでいきたいと思っております。

以上です。

○伊藤教育長

若山教育部長。

○若山教育部長

補足をいたします。概要版とともに本編の20ページにも記載をいたしておりますけれども、第2段落のところ。不登校児童生徒への授業のオンライン配信を実施しておりますというところで、不登校という言葉しかございませんけれども、コロナや

インフルエンザなどで欠席をされているお子さんに対しても、今現在も希望に応じてオンラインで配信というのは行うことにしております。以前のコロナのときには、必ずしもそういったものが十分ではない面もあったかもしれませんが、今後、そういうことも想定しながらしっかりと対応していきたいと思っております。

以上です。

○佐藤委員

ありがとうございます。病気の際の長期で入院されたお子さんが、大野城市ではオンラインで教室とつながって、すごく助かるというような話もお伺いしており、またそういったものがまだ推進できてない市もあるとお伺いしています。そういった面ではとても安心しています。今後、パンデミックなど大きなことが起きたときにも推進していただき、ぜひよろしく願います。

○伊藤教育長

よろしいでしょうか。推進計画の中に明確には書かれてない部分があるかもしれませんが、きちんとその際の対応など、マニュアル等を整理しながら進めていただければと思っています。そのほかよろしいでしょうか。

高野委員。

○高野委員

単純な質問ですが、26ページ、(3)整備・更新計画のICTサポートですが、令和6年度で1,400万円、令和7年度は月3回になって1,900万円、これ経費や報酬だろうと思うんですけど、単純計算すると2,100万円ぐらいになるのではないかと、何で1,900万円なのか。次の年には2,300万円になっています。どうしてなのかなど。その辺説明してください。

○松岡教育振興課長

先ほどの説明の中にもありましたが、令和7年の10月から3回になっています。

○高野委員

それでですか。

○松岡教育振興課長

令和7年度については、半年間は月2回という形になります。10月以降については月3回、令和8年度以降については、月3回を12か月という形で考えているところでございます。

○高野委員

ありがとうございます。

○伊藤教育長

そのほかよろしいでしょうか。

山口委員。

○山口委員

今のICT支援に関してなんですけれども、これってICTサポートのことでよろしいでしょうか。業務内容のところにごくたくさんの業務内容が一覧にありますが、この業務をICTサポートの方が担っているということでしょうか。

○伊藤教育長

松岡教育振興課長。

○松岡教育振興課長

こちら26ページの項目でいいますと、下から4番目のICTサポートという項目になります。実際はICT支援員を各学校に派遣しているということになります。

○伊藤教育長

山口委員。

○山口委員

今の月2回が月3回になるという話ですが、素人がざっと見たときに、すごく色々な業務があるなということを感じたのと、回数を見直すということで、人数は変わらずにその方が訪問回数を増やすというようなことでしょうか。

○伊藤教育長

松岡教育振興課長。

○松岡教育振興課長

現在、委託を行っております、回数が増えるごとにそこに従事している職員数というのは増えるような形になっていこうかとは思いますが。ただ委託ですので、人数を何人確保してくださいという形ではなく、各学校に月3回回れるような体制を組んでくださいという形になるので、今よりも回数が増え、従事される方は増えると考えているところです。

○山口委員

委託されているということですね。承知いたしました。

引き続き質問しますが、先ほどの有事のときの対応に関して、準備をされているのであれば、学びの保障の中に文面を入れていただいたほうが、そういった疑問も湧かないし、いいのかなと感じました。

○伊藤教育長

検討の余地はありますか。

○松岡教育振興課長

計画自体が策定済であるため、また次回策定するときにはそういったところも踏まえて考えていきたいと思っております。ありがとうございます。

○伊藤教育長

よろしいでしょうか。

山口委員。

○山口委員

学力テストも端末で行うような文面がどちらかあったと思うんですが、放課後の子どもたちが漢字の宿題をタブレットで書いている様子を見たときに、今後そうやってテストの方式も変わるんだったらそれでいいのかなと思うんですが、漢字を覚えると

いう視点では、タブレットではなかなか漢字の習得にはならないだろうなと思いつながら様子を見ています。テストの様式が変わってくるか全てがタブレットの宿題というような形に変わるほうがいいのか、そこは現場の声というのを吸い上げていただきたいなと思っています。教育委員会がそういう宿題にきなさいと言っているわけではないと思うんですが、そういった宿題の出し方とかは、学校判断でされているんですよ。

○伊藤教育長

松岡教育振興課長。

○松岡教育振興課長

検討委員会の中でも、学校の先生から、紙の学習、タブレットの学習というのはそれぞれの特徴がございますので、特徴を理解した上で、場合によっては紙を選択して授業に取り組む場合もありますという意見をいただいているところです。教育委員会から、宿題はこれを使用してくださいという指定はしておりませんので、その点は学校で柔軟に判断をされていると考えているところです。

○伊藤教育長

平井教育支援課主幹指導主事。

○平井教育支援課主幹指導主事

デジタルのよさとアナログのよさ、それぞれ十分承知して学校も行っています。特に小学校の低学年というのは実際に活動することで身につくというものが多いので、発達段階に応じてデジタルよりもアナログを重視するなど、発達段階のこともしっかり分かっている学校の先生ですので、十分検討してやっているところです。

以上でございます。

○伊藤教育長

使い慣れるというところが目的になって、まずはやってみましょうという形の段階もあるだろうと思います。そこが万能ではないということになると、それを元にした様々な課題も見えてきて、また違う方向でということもあると思います。そういう意

味で、この情報化推進計画は、効果的に使えるようにしていくというのが一つの目標だと思いますので、アンケートや実際の状況なども把握しながら、また施策に反映していただければありがたいなと思っています。

ぜひいろんな声を聞いていただければと思います。よろしくお願いします。

藤河委員。

○藤河委員

セキュリティやモラルの問題ですが、家に持って帰ったりなどがあると思いますが、ニュースなどではいろいろ耳にすることもあります。今、大野城市の中でそういったことでセキュリティやモラルの問題になっているような事案はあるのでしょうか。

○伊藤教育長

松岡教育振興課長。

○松岡教育振興課長

今現在、そういった形で情報漏洩ということは特にございませんし、モラルということで何かトラブルになったという話は聞いていません。ただ、今後もICTやSNSなどは発達していくところがございますので、学校の先生にもこういう教育ができるような形で環境を整えないといけませんし、学校の先生から子どもたちに教えるということも必要になってきますので、ここは重要なところだなということで計画にも載せさせていただいたところです。

○藤河委員

ぜひ推進していただきたいと思います。

○伊藤教育長

平井教育支援課主幹指導主事。

○平井教育支援課主幹指導主事

情報モラル教育について、今年度のいじめの対応、内容の分析等を行っているところでございますが、昨年度は中学校のSNSでのいじめの割合というのが非常に多く

ございました。今年度、起こってはいるのですが、ものすごく減っています。SNS等の情報化が進むにつれて、そういったことは増える傾向はあるんですが、それに伴って情報モラル教育も行っています。たちごっごのようなところはあると思うんですが、多少の効果は出ているんじゃないだろうかと考えているところでございます。

○伊藤教育長

よろしいですか。

○藤河委員

はい。ぜひ推進していただきたいと思います。

○伊藤教育長

そのほか、よろしいでしょうか。

山口委員。

○山口委員

放課後の子どもたちの様子に関して、タブレットで宿題が出ているのでタブレットで宿題をするんですけども、その後にゲームというか、多分できないものじゃないからできると思うんですけども、自分たちでつくるんですかね、よくゲームをしている様子がうかがえるんですね。放課後、みんなで遊ぶということよりも、結構1人でやっていたり、友達とゲームしたりしているんですけども、どういう使い方までしていいのか、できないことはできない設定になっていると思うんですけども、そこがちょっと見ていて注意もできないし、今後、タブレットと子どもたちの向き合い方はこれで正しいのかなとか思いながら、子どもたちを見ています。もし機会がありましたら、そういった様子も見に来られたら、実際子どもたちがタブレットを家に持ち帰ってどういう使い方をしているのかが垣間見えるのかなと思います。

○伊藤教育長

ゲームというのは、学校から配付のタブレットでできるということですか。

○山口委員

自分たちでプログラミングしているようなゲームとかもあって、私分からなくて。

○伊藤教育長

授業の中のプログラミングの学習で作ったものでは。

○上野教育振興課担当

そうですね、授業の中でプログラミングの学習があって、そこでスクラッチというソフトを使って自分たちでプログラミングをするんですけども、恐らくそういったものを自分たちでいろんなことを試してみたりしているのではないかと思います。あと低学年向けだと、コードモンキーという、お猿さんがバナナを取りながら、こっちに動くために横に行って、上にジャンプして横に行っていくという、そういう簡易的なプログラムを組みながら物事の動きを学んだりするんですけど、恐らくそういったものをされているのかなと思います。純粹にゲームと言われるものは基本的に使えないようにはしておりますけれども、そういったものを学びと遊びとを混ぜながら使われているのかなという印象があります。

○伊藤教育長

ダウンロードしてゲームができるという状態ではないわけですね。

○上野教育振興課教育振興担当

はい。

○伊藤教育長

あくまでもプログラミングの中でやっていて、作って遊んでいるということですね。

○上野教育振興課教育振興担当

あとは、一部オセロとか、ウェブのサービスにアクセスすればそういうのが使えたりするようにはなっています。

○伊藤教育長

ネットにはつなげられるということですね。

○上野教育振興課担当

そうですね、もちろんネットにはつなげられるんですけども、いわゆるゲームのサイトと危ないサイトにはつながらないように設定しています。

○伊藤教育長

いずれにしても、状況は1回見に行ってみるといいかもしれませんね。
どうぞ、高野委員。

○高野委員

説明にあったかもしれませんが、今度、タブレットを全部更新されるということで、次の更新は何台ぐらい購入する予定ですか。

○伊藤教育長

松岡教育振興課長。

○松岡教育振興課長

前回の購入が令和2年に行っており、大体5、6年くらいを見込んでいるところです。今回の85%というのは、充電回数が多いものというのは早めに更新をしないといけないかなと思ってまして、充電回数が少なくてまだ使えそうなものについては1年先送りという形で、できるだけ長く使いながら子どもたちが学習できるようにということで更新を計画しております。

○伊藤教育長

よろしいでしょうか。

それでは、こういった計画が策定されていますので、また学校訪問の際のICTの活用であるとか、学校での説明の中でも情報化の推進状況などが分かるようにしていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願ひしたいと思います。

[その他]

(1) 教育長の業務報告(12月～1月)

(2) 教育委員会の主な行事・業務の予定(2月)

○伊藤教育長

では、これをもちまして1月の定例教育委員会を閉会いたします。

午前10時45分 閉会